

2018年11・12月号

特集：自動車に浸透する光技術

近年、自動車の自動運転技術が大きな盛り上がりを見せています。自動運転のためのキー技術は周囲の環境、自動車、歩行者等のセンシングです。そのセンシングの中心は光技術と画像処理技術になります。また自動運転に限らず、光技術は自動車の様々な部分に変革を与えつつあります。例えばヘッドライトの技術は、放電管からLED、さらにはレーザーへと移行するとみられています。また、対向車や歩行者の幻惑を防ぐ、パターン投影型のヘッドライトの実用化も進んでいます。この号では急速に広がっている自動車に係る光と画像技術について特集します。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	自動運転へ向けた光技術	豊田中央研究所
3	LiDARにおける深層学習の適用に関して	豊田中央研究所
4	車載系LANの最近の動向	矢崎総業
5	超小型・高機能な「LEDヘッドライト用光学モジュール」を開発	三菱電機
6	車載用ヘッドアップディスプレイに向けたホログラフィ技術の実用化に向けた課題や展望	IBLC
7	ヘッドアップディスプレイ全般の動向	デンソー
8	HMIからみた灯火制御と今後の予測	トヨタ自動車
9	AIの視線を可視化	中部大学
10	車載3D LiDARを中心とした測距装置への各社の取り組み	元 キヤノン
11	ぶつからない世界を実現する超高速3次元画像認識技術	ITDLab

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2018年11月25日

申込締切：2018年10月25日

原稿締切：2018年10月31日